

## 授業改善等に関する報告書（2023 年前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2023（前期）教職課程】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
家庭科教育法（2）	市毛 祐子	実際に模擬授業を行ってみると、自分が考えていたより、いかに難しいかを実感したことと思います。自分の言葉で分かりやすく授業をするためにはその何倍も教材研究をする必要があります。そのためには、皆さん自身が日頃から好奇心をもって、そして謙虚な姿勢で貪欲に学んでいくことが大切です。今回の授業での気づきを大切に、これからも事前学修、事後学修の時間を確保し、貪欲に学んでいく姿勢を忘れないでください。私自身も皆さんの学ぶ意欲を高め理解が一層深まるよう、説明の仕方や配布資料のわかりやすさ等、一層の授業の工夫・改善に努めていきます。
教育課程論	清田 夏代	結果には概ね納得している。この授業は、今年からオンデマンド開講で7回全て課題の提出（映像を視聴し、感想コメントをresponで提出する）を、採点の条件としているが、授業開講時のコースニュースでの周知などをきちんと確認していない学生が複数いた。オンデマンドは再履修も簡単のため、対面よりも条件を満たせない学生が多いように思われる。今後、manabaでの授業情報の確認をきちんとするよう、さらに連絡を強化していきたい。
教育課程論	清田 夏代	今年からオンデマンド開講で、回答は0件である。7回全て課題の提出（映像を視聴し、感想コメントをresponで提出する）を、採点の条件としているが、授業開講時のコースニュースでの周知などをきちんと確認していない学生が複数いた。オンデマンドは再履修も簡単のため、対面よりも条件を満たせない学生が多いように思われる。今後、manabaでの授業情報の確認をきちんとするよう、さらに連絡を強化していきたい。
教育原理	清田 夏代	結果については、概ね納得している。3年次から教採受験可能になった自治体もあるため、一層そうした動きに対応できるような内容にしていきたいと考える。
教育実習A/教育実習B	市毛 祐子	皆さんがこれまで身に付けた力を教育実習で存分に発揮できるよう、実習前は教育現場の様子や事例を挙げて、少しでもイメージが湧くように授業を進めてきました。また、実習後の報告会の様子からは、皆さんがこんなにも大きく成長するのかと感動しました。ぜひ、これからも教育実習で得た学びを忘れずに、さらなる飛躍を期待しています。
教育実習A	清田 夏代	結果には概ね納得している。学校現場における変化、また、今後教育実習の時期など、教員養成制度上の改革が行われる可能性があるため、そうした動きに対応できるようにしていきたい。
教育実習A	中村 一哉	この授業は「教育実習」を有意義な学びとすることを目標とする授業です。通年に渡って実習があるため、成績は後期にまとめてつけることとなります。ですから、まだこれから実習を迎える人もいますが、前期に実習を行った皆さんは、適度な緊張感と前向きな姿勢をもって教育実習に望んでいたと思います。実習は思い通りになることばかりではありません。それがまた、実際の学校を理解し体験する貴重な学びとなる訳ですが、その課題から逃げずによく取り組んだ成果が、事後の発表から伺えました。今回、実習に臨むにあたって、個人テーマと全体のグループテーマを設定しましたが、生徒との関係づくりや意欲を引き出す指導は、教育の常に変わらない課題でありテーマです。その意識をもって実習に臨むこと自体が、教育を学ぶ上で極めて重要であることが実感してもらえたと感じています。その経験を基に、後期の「教職実践演習」では、更に課題意識をもって、それを深めていきたいと思っています。
教育制度	清田 夏代	結果については、概ね納得している。3年次から教採受験可能になった自治体もあるため、一層そうした動きに対応できるような内容にしていきたいと考える。
教職研究 a	中村 一哉	2年生から4年生まで、教職の履修経験の異なる皆さんで、「教育時事」の今日的な教育課題を考えていく授業でした。それぞれの皆さんの課題意識が異なるため、一律な学びの成果を問うことは難しいかもしれませんが、いじめや不登校、虐待など、長年にわたって青少年の課題となっている問題や、教員の勤務の実態やメンタルヘルス、部活動やチャットGPTの問題など、解決の困難な課題について、様々な視点から考えていくことで、教育をより深く捉える機会となったのではと期待しています。この授業はアドバンス科目です。ここで学んだ経験を、今後の教職の学びや採用試験などに生かし、より発展させてほしいと願っています。
教職研究 a	中村 一哉	今回、日野キャンパスでは、教員採用試験を目前に控えた4年生の2名が、アドバンス科目のこの授業を履修してくれました。途中、教育実習期間などもあり、マンツーマンでの授業となることもありましたが、教職への強い意志をもって臨んでくれたため、とても手応えを感じた授業だったと思います。テーマは「教育時事」でしたが、採用試験前ということもあって、研究として深めるよりも「論作文」や「面接」の形で、時事的問題を多様な視点で捉えることに重点を置いて授業を進めました。その成果が採用試験で活かされることを願うとともに、教職に就いてからの様々な場面での判断基準となることを切に期待しています。

【2023（前期）教職課程】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教職研究 b	柏崎 秀子	どの項目も平均を上回って非常に高い値でしたので、充実した授業になったと手ごたえを感じています。教員採用試験への興味がより強まったり、教職に必要な知識が深まったりと、本授業の目的が達成できたことがわかり、非常に嬉しく思います。今年から3年生が前倒して教員採用試験を受けることができるようになりましたが、授業で習ったことがとても活きた、とのコメントがあって、非常にやりがいを感じました。今後もこのように進めていきたいです。
教職入門	市毛 祐子	なぜ、教職を目指しているのか、そして教職に就いたら何をしたいのか、自分なりの軸をもって課題に取り組んでもらうために、教職の意義やこれからの学校教育の在り方等、国、地方自治体、学校そして地域の取組などを取り上げながら授業を進めてきました。授業では、積極的に自分の考えを発言するなど意欲的でとても頼もしく感じました。グループ研究を通して共通の課題に取り組むことで、皆さん自身が、理論はもとより協働性、同僚性を育むことができたのではないのでしょうか。今後も、最新の教育の動向やトピックを取り上げながら、資料の提示の仕方や授業の進め方についても工夫・改善をしていきます。皆さんも、この授業で得たことを生かして、ますます教職への意欲を高めて欲しいと願っています。
児童・生徒栄養教育論（1）	白尾 美佳	皆さん方の発表は児童生徒栄養指導論Ⅱになりましたが、パワーポイントでの発表はよかったと思います。今後、栄養教諭を目指して頑張りましょう。
発達・学習理論	柏崎 秀子	どの項目も平均を上回って非常に高い値でしたので、充実した授業になったと手ごたえを感じています。コメントでは、人間の発達について理解が深まったのはもちろんのこと、自分の小中高時代を振り返る機会が多く、思い出と関連づけて学んだことで理解度が深まったり、教員のトークが面白く楽しく学べたり、授業後の質問や授業内容を交えた雑談などで理解が深まったりとのことで、やりがいを感じました。今後も自分自身の発達を関連付けながら学べる工夫を重ねていきたいと思っています。
発達・学習理論	柏崎 秀子	どの項目も平均を上回って非常に高い値でしたので、充実した授業になったと手ごたえを感じています。ハキハキと元気に話していたと感じてもらえましたし、とても分かりやすく興味深かったようで、話し方や説明の仕方の工夫が活きたようで、非常にうれしいです。また、コメントでは、人間の発達について理解が深まったのはもちろんのこと、自分自身と関連付けて学べて理解が深まったり、論理的に思考する力が身に付いたり、この授業をきっかけに学習そのものに深まりが持てるようになったと知り、大いにやりがいを感じました。今後も皆さんにとって楽しくわかりやすく、そして論理的にも学べるよう、工夫を重ねていきたいと思っています。
発達・学習理論	宮脇 郁	皆さんアンケートへのご協力ありがとうございます。 できるだけわかりやすい授業を心がけていますが、実際にある程度わかりやすかったようなのでほっとしました（Q7、Q9）。また、総合的な満足度についても一定の評価をいただけ（Q15）、皆さんがこの分野についてさらに学びたいと思ってくれた（Q13）ことも大変うれしいです。 一方、双方向授業の工夫については、大いに改善の余地があります（Q8）。manabaの個別指導はオープンにしていますが、ほとんどが欠席の連絡での利用であり、質問等での利用は少なかったです。皆さんが気軽に質問・意見できる方法を検討したいと思います。 授業を「聞いておしまい」にせず、教育や自分の学びに生かしてもらうために、「毎授業後に「今回の授業で学んだことを教育や自分の生活に生かすにはどうすればよいか」ということを考えて、宿題として提出してもらいました。受講生の皆さんにとっては大変な作業だったと思いますが、多くの人の回答は目に見えて向上していきました。自由記述でも、「だんだん慣れて書きやすくなっていった」と回答した方がいました。学んだことをアウトプットしていくのはとても大事なことで、今後も続けていくつもりです。昨年度までは感染対策のためにグループワークを取りやめていましたが、今年度は復活させました。皆さん活発に話し合っていたので、やってよかったです。今後の授業でもグループワークはできるだけ取り入れていきたいと思っています。 皆さん半期の間ありがとうございます。機会があったらまた一緒に学びましょう。
発達・学習理論	柏崎 秀子	どの項目もおおむね平均当たりの値でしたので、一定の成果があったと思われませんが、しいて言えば、双方向性の点でもう少し工夫が必要かなと感じられましたので、質問のしやすい雰囲気づくりに気を配りたいです。コメントでは、教員になる自覚やその知識が得られたのはもちろん、自分自身の発達を振り返る良い機会になったようで、とてもやりがいを感じました。また、日常にも役立つ知識が多く学び甲斐があったとも書かれていて、この授業がきっかけで心理学を活用できる機会が広がれば、担当者として大きな喜びです。今後も学びが広がるよう工夫していきたいと思っています。
発達・学習理論	柏崎 秀子	どの項目もおおむね平均当たりの高め値で、説明が丁寧で授業が分かりやすく、毎回の小テストで理解度を確認できたとも書かれていて、授業の工夫が活きたと喜んでいきます。コメントからは、自分の考えをまとめる力が身に付いたり、教員の立場から見た教育について理解が深まったり、教師の大変さが分かったり、この授業を受講して教員になりたいと強く思うことができたりと、教職科目として、いっそう教職への関心を深めるきっかけになったようで、やりがいを感じました。今後も学生が教員や教職への理解・関心が深まるよう、工夫を重ねていきたいと思っています。

【2023（前期）教職課程】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
美術科教育法（2）	中村 一哉	<p>美術科教育法(2)の授業は、美術科の指導計画の立案と学習指導案に基づく模擬授業を通じた指導力の向上を目指すことが主な学修内容でした。履修者が多かったため、模擬授業は2人1組での実施となりましたが、事後の感想を見ると、相互に意見を重ねながら授業をつくり上げていく体験は、皆さんにとって有意義な学びとなったようです。その経験は、今後、美術科教育法(4)へと発展していきますが、その際には、学習指導要領の根拠に基づいて授業を構築していくことに、さらに磨きをかけてほしいと思います。題材を通じた表現や鑑賞の活動を通して、どのような資質・能力を生徒に育成するのか、言い換えれば、どのような力を付けるために授業を行なうのか、その目標を明確に定めて、しっかりした視点に立って授業を考えていくことが大切です。更なる皆さんの頑張りに期待しています。</p>